公益財団法人 北海道スキー・スノーボード連盟 アルペン強化委員会

2026－2027 シーズン
ＳＡＪ公認アルペンユース競技会実施要領（K2・北海道ブロック）

1　北海道ユースレースについて

日頃よりアルペンスキーを楽しみ、競技力向上を目指して練習している北海道各地の選手が競い合い、その成果を発揮するための場として北海道ユースレースを開催します。

シーズンを通して道内各地の SAJ 公認コースを持つスキー場で開催し、様々な斜面や雪質・スピードでのレースを経験・対応することで競技力の向上を図っています。

レースに出場することにより選手は下記の事を得る（各詳細はルールブック・要領などを確認）

（1）SAJ ポイントを取得することができる
- SAJ 公認レースのスタート順に反映される
- ランキングを確認することが出来る

（2）北海道ユースポイントを取得することができる
- 北海道ユースレースの総合・種目別表彰
- 北海道スキー・スノーボード連盟強化指定選手選考

（3）ジュニアオリンピック出場選手(北海道代表)の選考

2　北海道ユースレース大会開催会場（Ｋ２）

	開催地	スキー場	種目	開催日	JOC 選考レース
第１戦	十勝	ぬかびら源泉郷①	ＳＬ・ＧＳ	1 月 4・5 日	
第２戦	南空知	桂沢国設スキー場①	ＧＳ・ＳＬ	1 月 9 日・10 日	
第３戦	十勝	ぬかびら源泉郷② (全道中学)	ＧＳ・ＳＬ	1 月 15・16 日	
第４戦	札幌	サッポロテイネ①	ＳＬ	2 月 11 日	
第５戦	小樽	朝里川温泉スキー場	ＧＳ・ＳＬ	2 月 13・14 日	
第６戦	旭川	カムイスキーリンクス	SG×２	2 月 20 日・21 日	ブロック予選 ２戦目
第７戦	札幌	サッポロテイネ②	SL×2	2 月 27・28 日	ブロック予選 ２戦目
第８戦	富良野	富良野スキー場	ＧＳ×2	3 月 6・7 日	ブロック予選 ２戦目
第９戦	南空知	桂沢国設スキー場②	ＧＳ×2	3 月 13・14 日	
全６会場・９大会　合計１７レース（ＳＬ・7／ＧＳ・8／ＳＧ・２）					

3　SAJ 公認ユースレースのルール

全ての資料は全日本スキー・スノーボード連盟のホームページに掲載されています。
https://www.ski-japan.or.jp/library_cat/alpine/
全日本スキー・スノーボード連盟 HP　→　ライブラリー(各種資料)　→　アルペン

【例】
・アルペンスキーのルール　→　アルペン競技規則【ICR】
・ユース関係の国内ルール　→　2026/2027　SAJ 公認アルペンユース競技会開催要領
・ＳＡＪ公認アルペンユース競技会開催要領　→　2026/2027　SAJ アルペン委員会　競技ハンドブック
・使用するマテリアルについて　→　スキー用具に係る国内運用ルール／国内運用規定
・SAJ ポイント　→　SAJ データバンク

以下、主なルールや注意点を抜粋しています。

（1）K2 カテゴリー
2011 年 1 月 1 日生まれから 2014 年 4 月 1 日生まれの選手

（2）スタート数の制限について
・中学 3 年および高校 1 年早生まれは制限なし。
・SAJ 公認レース技術系（GS／SL）合計　12 レース以内（中学 1・2 年）SG 種目は制限なしとする。
・レース数が超過した場合は、超過したレースの取得ポイントは無効となり、悪質な場合は次年度 1 月 31 日まで SAJ 公認大会にエントリー禁止するとともに、同期間 FIS ライセンスを発行しない。
・全国中学、ジュニアオリンピック、全日本 Jr.ユースＳＧ、全道中学、選考レースのスタートはこの制限に含めない。

（3）スタート方法
・ＳＡＪポイントリストを採用し、１５位タイまでを第１グループとしてドロー、
１６位以降はポイント順とする。ＳＡＪノーポイント選手についてもドローを行う。
※ドロー方法は前日公開ドローを推奨とする。
※ドロー方法は開催要項に記載する。

（4）26-27 競技用品について
・ヘルメットは、新規格対応表示（ＦＩＳステッカー[ＲＨ2013]）が明示されているヘルメットの着用を義務とする。（ＳＧ・ＧＳに適用）

（5）耐切創性アンダーウエアの導入について
・耐切創性アンダーウエアパンツ（タイツ）の使用は、イベント（カテゴリー）において義務づけられる。
義務化された導入においては腸骨稜（骨盤の上のライン）からブーツ履き口までの間すべての場所で、FIS-DITF テスト基準に従った最小 3 つ星の保護レベルが必要となる。
耐切創性シャツまたはフルスーツの使用も強く推奨される。
（FIS ユースカテゴリーレースに出場する場合には 26-27 シーズンより着用義務化となりました）
※1.国内では野沢 JAPAN CUP が FIS カテゴリー対象レース。（U14 以下は対象外）
※2.海外ユースレース（アルプチンブラ）も対象となります。
上記 ※1.※2.は耐切創性アンダーパンツ（タイツ）の着用義務対象イベントとなります。

4　北海道ユースレースの開催

大会要項・リザルトや各種資料・お知らせ等は北海道スキー・スノーボード連盟のホームページに掲載されています。
http://www.ski-hokkaido.jp/competition/division/dv04.php

（1）北海道ユースレース総合表彰について
・最終戦レース会場（三笠会場）で表彰式を実施する
・種目別優勝の表彰
Ｋ２：ＧＳ・ＳＬは上位３レース、ＳＧは２レースの北海道ユースポイントの合計１位
・総合優勝の表彰
Ｋ２：ＧＳ・ＳＬは上位３レース、ＳＧは２レース(計８レース)の北海道ユースポイントの合計１位

（２）北海道スキー・スノーボード連盟強化指定選手の選考方法は北海道スキー・スノーボード連盟ＨＰに掲載しています。

（３）チームキャプテンミーティング(TCM)について
　TCM ではスケジュール・連絡事項を主催者側がお知らせするだけでなく、参加者からの要望や意見を伝えることの出来る場でもあります。

（４）道外レース参加の場合
・北海道スキー・スノーボード連盟ＨＰより申請書をダウンロードし必要事項記載の上、提出する。
　申込先　　北海道スキー・スノーボード連盟　吉田和博　強化委員宛
　　※道外ＳＡＪ公認ユースレースは全てに該当する。
・海外ＦＩＳユースレースについては事前に強化副委員長・水尾大輔まで確認してください。

5　ジュニアオリンピック出場選手の選考について

（１）　出場資格
①各ブロックに割り当てられた出場枠による出場　※後日 SAJ より発表
②個人での出場資格による出場
　2026/2027　SAJ アルペン委員会　競技ハンドブックに掲載
※上記有資格者であってもブロック予選レースに出場しなければならない
※ブロック予選の欠場を認める場合については SAJ 競技ハンドブック参照

（２）北海道の出場枠の選手選考方法
・指定された選考レース会場（旭川 SG、札幌 SL、富良野 GS）のそれぞれ各選考レース日の、SG/SL/GS の合計ポイント上位者から選考する。
　※合計ポイントが同じ場合は最高順位の良い選手とする
　※順位が同じ場合は合計タイムの良い選手とする
　※合計タイムが同じ場合は抽選とする
・SG/SL/GS の第 2 戦がキャンセルとなった場合は第 1 戦の結果を採用する。
　※実施できない種目があった場合は実施した種目のみで選手選考する。
　※上記の方法で決められない場合は北海道スキー・スノーボード連盟強化委員会で決定する
　※選考された選手が出場しない場合は各選考方法での次点の選手へ繰り下げていく

（３）その他
・選手発表は選考レース終了後に行い、北海道スキー・スノーボード連盟 HP に掲載します。
・個人資格により出場する選手、選考された選手は富良野会場にて参加申し込みの手続きを行う。
・申し込み方法や宿泊の手配の情報は各ユースレース TCM や北海道スキー・スノーボード連盟 HP にて案内します。

6　資料
(1)北海道ユースレースポイント
※北海道ユースレース総合・種目別と北海道スキー・スノーボード連盟強化指定選手の選考に使用するポイント
※リザルトに北海道以外の選手がいた場合でも順位の繰上げは行わない

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
ポイント	**100p**	**80p**	**60p**	**50p**	**45p**	**40p**	**36p**	**32p**	**29p**	**26p**	
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位	21位
ポイント	**24p**	**22p**	**20p**	**18p**	**16p**	**15p**	**14p**	**13p**	**12p**	**11p**	**10p**
順位	22位	23位	24位	25位	26位	27位	28位	29位	30位	31位以下	
ポイント	**9p**	**8p**	**7p**	**6p**	**5p**	**4p**	**3p**	**2p**	**1p**	**0p**	